

令和5年度の取組について



令和5年6月5日(月)

令和5年度の取組について



1. 令和5年度の展示事業
2. 令和5・6年度の教育普及事業

1. 令和5年度の展示事業

展示室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1	【第1期コレクション展】 名品1 -懐かしい景色-		【第2期コレクション展】 名品2 東山魁夷		【千葉県政150周年記念事業 房総の海をめぐる光と影とアート展】 描かれた房総		第72回 千葉県展	【オランダとの文化交流事業】 テオ・ヤンセン展			【企画展】 アーツ・アンド・クラフツ とデザイン	
第2												
第3 工事のため後半は 第6・7を使用	【第1期コレクション展】 絵葉書の時代1		【第2期コレクション展】 絵葉書の時代2		【千葉県政150周年記念事業 房総の海をめぐる光と影とアート展】 クワクポリョウタ		第47回 移動 美術館					
第8 工事のため後半は 第6・7を使用	【第1期コレクション展】 人が作り出した生き物		【第2期コレクション展】 黒田重太郎									

展示概要

房総の海をめぐる光と影とアート展

Chiba

【会期】2023年7月19日-9月28日（55日間）
【予算】10,345千円 【入場料】一般500円
○クワクポリョウタ《コレクション・ネット》

現代アーティスト クワクポリョウタが千葉県の地理、自然、産業、文化等さまざまな側面からリサーチを重ね、「房総の海」をテーマとしたインスタレーションを展示。

○描かれた房総

房総半島を象徴する海の景色を中心として、房総の豊かな自然が画家たちにどのように表現されてきたのか、コレクションから紹介。

Challenge

テオ・ヤンセン展

Change

【会期】2023年10月27日-2024年1月21日（68日間）
【予算】20,000千円 【入場料】一般1,000円
千葉県とオランダの文化交流事業として、オランダの現代アーティスト テオ・ヤンセンの展覧会を開催。
プラスチック・チューブを加工した「細胞」によって構成され、風を受けて動く「ストランド・ビースト」を展示。

アーツ・アンド・クラフツとデザイン

Connect

【会期】2024年1月30日-3月24日（48日間）
【予算】8,495千円 【入場料】一般500円
今から150年程前のイギリスで展開された「アーツ・アンド・クラフツ運動」を紹介。本運動を牽引した作家たちによる作品から、千葉県ゆかりの作家の作品まで、アーツ・アンド・クラフツのデザインの広がりを展示する。

会議での意見

- 千葉県の独自性を追求し、千葉県の魅力をより引き出すような方向性を検討できるのではないか。
- 現代アートの質の変化を取り入れるような改革により、従来の陳列型の美術館の在り方を一新するのも一案である。

- 千葉県の独自性を追求し、千葉県の魅力をより引き出すような方向性を検討できるのではないか。
- 千葉県内で多様な人々が暮らす中で、社会問題に向き合った現代美術などを扱うことにより美術館としても貢献できるのではないか。
- 現代アートの質の変化を取り入れるような改革により、従来の陳列型の美術館の在り方を一新するのも一案である。

- 美術館と「どこ」が「つながる」というビジョンが必要である。
- デザイン業界を下支えするための展覧会の開催等を検討しても良いのではないか。

2. 令和5・6年度の教育普及事業

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワークショップ		こどもの日 ワークショップ	県民の日 ワークショップ				ICT ワークショップ	100人 ワークショップ	テオ・ヤンセン展 ワークショップ		アート・アンド・ クラフツとデザイン展 ワークショップ	
実技講座		実技講座 陶芸①		実技講座 陶芸②			実技講座 蜜蝋画			実技講座 篆刻		
対話型鑑賞教室				対話型鑑賞教室 (コレクション展)		対話型鑑賞教室 (常設彫刻)		対話型鑑賞教室 (常設彫刻)		対話型鑑賞教室 (常設彫刻)		
ミュージアムコンサート					展覧会 コンサート				ミュージアム コンサート			
教育普及 展示											大学連携展示	メッセージ・ アンブレラ

県民の日ワークショップ

Chiba

【日時】 2023年6月11日
【費用】 無料
【対象】 一般
【概要】

千葉県誕生150周年を記念するイベント内のワークショップとして出展。
千葉県内の自然（木の枝など）を使ってオブジェを作ること、千葉の自然に愛着を持ってもらい、自由な創作の心をはぐくむ。

展覧会コンサート

Collaborate

【日時】 2023年8月5日
【費用】 無料
【協力】 公益財団法人 千葉交響楽団
【概要】

千葉交響楽団とコラボレーションし、「房総の海をめぐる光と影のアート展」に合わせ、第7展示室で室内楽のコンサートを開催する。展覧会を盛り上げるとともに、アートに関心のない人にも美術館に足を運んでもらえる機会を作る。

対話型鑑賞 ※新規

Communicate

【日時】 2023年7月1日／9月9日／11月4日／2024年1月8日
【費用】 無料
【対象】 一般
【概要】

令和5年度から、ボランティア（サポーター）の協力のもと、対話型鑑賞を本格的に導入する。
コレクション展や常設彫刻を対象に実施し、参加者がそれぞれ作品に対する自分の発見や思いを語り合うことで、自由な作品の見方、自由な美術館の楽しみ方を促す。

令和6年度：美術館活性化に向け、幅広い利用者を想定した事業を行うため、計画を具体化していく。

会議での意見

- ・教育普及事業が今の時代にアップデートされていない印象がある。
- ・メニューの必要性を精査してスクラップアンドビルドするべきである。
- ・美術が好きなお客だけでなく、対象者を広げていかなければならない。
- ・シニアが生涯幸せに生きていけるような、高齢者向けプログラムを提案したい。
- ・体験教育、実物教育が非常に重要になってきている。大学の教育学部などと協働していくことが必要である。